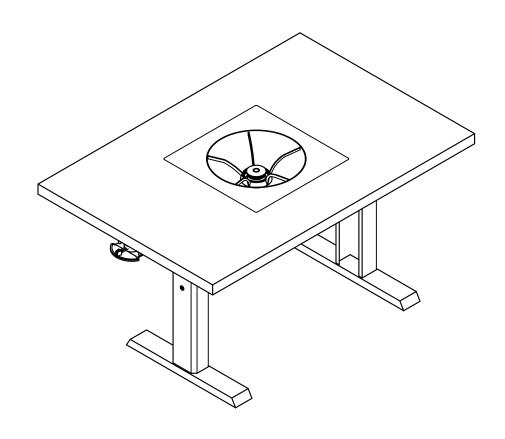
取扱説明書

SILK ROM

業務用 ガス客席埋め込み型コンロ

SUS花 (さすが)

品番: CTK-2016



家庭用には使用しないでください

このたびは、業務用ガス客席コンロを、お買い上げ頂きましてありがとうございます。 製品を末永く安全に使用していただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。よく理解した上で正しくお使い頂き、いつでも取り出せるところに、保管しておいてください。

目 次

《ご使用前に》または《安全に正しく ■表示と意味 ■絵表示について	お使い頂く	ために	_》	•	•		•	•	•	2
特に注意していただきたいこと・・・ ■ガス漏れの処置 ■使用ガスについての注意 ■点火確認、消火確認 ■日常の維持管理 ■火災予防 ■火災注意 ■異常時の処置	・ • • • • • ■使用上の注: ■お願い	意		•	•	-	-	3	~	6
各部の名称と仕様・・・・・・・・ ●各部の名称 ■消耗品 ■仕様表				•		•	•	7	~	8
設置について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	■設置場所 ■設置時の注	意		•		•	•	8	~	11
ご使用方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・・・・・・ ■停電時・災	害時の	・・ご使用	月方泛	· •	•	•	11	~	13
日常の点検・お手入れ・・・・・・・ ■点検・お手入れの際の注意 ■点検 ■お手入れの道具と洗剤 ■お手入れ	■点火プラグ	• • • サ ー	モカッ	・・プノ	レの	• お手	• 一入	•	!~	16
故障・異常の見分け方と処置方法・										16
長期間使用しない場合・・・・・・									•	17
アフターサービスについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・						-	•	•	•	17
保証書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・							•	•	•	18

■《ご使用前に》または《安全に正しくお使い頂くために》

安全に正しく使用して頂くために必ずお読みください。

ここに示した注意事項と絵表示は機器を安全に使用していただきお客様や他の人々の 危害や、財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

■表示と意味

誤った取り扱いや設置により生じる危害・損害の程度を3つに区分しています。

▲危険	この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が死亡または重傷を負う危険 が切迫して生じる場合が想定されることを表しています。
▲警告	この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が死亡または重傷を負う可能 性が想定されることを表しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。

■絵表示について次のような意味があります。

\triangle	一般的な注意	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」 の内容です。
	火災注意	このような絵表示は、火災に気をつけていただきたい「注意 喚起」の内容です。
	火気禁止	このような絵表示は、火気を使ってはいけない「禁止」内容 です。
	高温注意	このような絵表示は、高温に気をつけていただきたい「注意 喚起」の内容です。
\Diamond	一般的な禁止	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	触手禁止	このような絵表示は、手を触れてはいけない「禁止」内容で す。
0	必ず行う	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容で す。

■ 特に注意していただきたいこと (安全のために必ずお守りください。)

⚠ 危険

■ ガス漏れの処置

ガス漏れに気付いたときは①~③の処置が終わるまでの間、絶対に火をつけたり電気器具(換気扇その他)のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差し及び周辺の電話を使用しない。

炎や火花で引火し爆発事故を起こすことがあります。

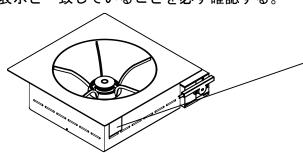
- ①すぐに使用をやめ、ガスの元栓を閉じて下さい。
- ②窓や戸を開けガスを外へ出して下さい。
- ③お買い上げの販売店またはガス事業者に連絡して下さい。



▲ 警告

■ 使用ガスについての注意

必ず形式銘板(機器右側面に貼付)に表示しているガス (ガスグループ)を使用する。移転した時も、供給ガス の種類が銘板の表示と一致していることを必ず確認する。



供給ガスと一致していない場合、そのまま使用すると 不完全燃焼により一酸化炭素中毒になったり、爆発着火 で火傷したりすることがあります。また、故障の原因に もなります。

供給ガスがわからない場合はお買い上げの販売店または ガス事業者に連絡して下さい。 例:都市ガス12A, 13Aの場合

品番: CTK-2016 形式名: CTK-2016

都市ガス 1 2 A , 1 3 A 用 ガス消費量 12A 3.50kW 13A 3.72kW 00.00-000000

山岡金属工業株式会社

業務用

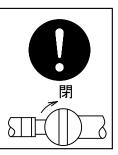
世界の能な 最大ナベ寸法 直径28cm



■ 点火確認·消火確認

使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中もときどき正常に燃焼していることを確かめる。

使用後は消火と、ツマミが「OFF」の位置の方向に「カチッ」と音がするまで戻ったことを確かめ、ガスの元栓を必ず閉じて下さい。火が立消えた状態で放置されると多量のガスがもれ、爆発の恐れがあります。



■ 日常の維持管理

日常の点検·お手入れを実施して火災予防上支障のない状態に維持管理することが、火災予防条例で求められています。

器具内部に油汚れが蓄積すると火災の原因となります。また、炎孔が詰まったり消耗したバーナは、未着火、立消えの原因となり、ガス漏れの 危険が増します。

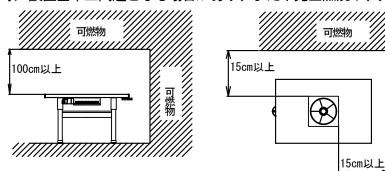


■ 特に注意していただきたいこと(安全のために必ずお守りください。)

▲ 警告

■ 設置について(火災予防)

設置や移動の際、(家具や壁・棚など)可燃性の部分から下図寸法を守って設置する。 火災予防条例で定められています。必ず守ってください。距離が近いと火災の原因になります。 また、可燃性の壁にステンレス鋼板などを直接貼りつけた場合でも可燃物と同様の距離が必要です 機器を設置した後、機器の周囲の改造をしないでください。(例えば、周囲を囲ったり、吊り戸棚 をつける等)設置基準上問題となる場合があり、また不完全燃焼や、火災の原因になる場合があります



換気口、吸気口は常に確保し、物などでふさがないで下さい。 不完全燃焼による一酸化炭素中毒の危険があります。

■ 火災注意

スプレー、ガソリン、ベンジンなど引火のおそれのあるものを近くで使用しない。 機器の周囲にスプレー缶を置かない。



熱でスプレー缶の圧力が上がり爆発のおそれがあります。

■ 換気に注意

使用中は窓を開けるか、換気扇を回すなど して必ず換気をしてください。



不完全燃焼による一酸化炭素中毒で死に至 る危険があります。

■ 火災予防

火をつけたまま放置することは禁止します。



料理中のものが焦げたり、燃えたりして火 災になる場合があります。

■ 火災予防

機器の上やまわりには、可燃性 (カーテン 、新聞紙、紙袋など) や引火性 (エアゾー ル缶など) のものは置かない。



焦げたり、燃えたりして爆発や火災の原因 となります。

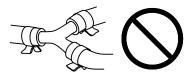
■ 使用上の注意

ゴム管は、ガス用ゴム管 (検査合格又はJISマークの入っているもの) を使用して下さい。 ゴム管は、ゴム管口の赤 線まで差し込みゴム管止 で確実に止めてください。





ゴム管の継ぎたし、及び二又分岐はしない。



ガス漏れや誤使用などで危険な場合があります。

ゴム管は、ときどき 点検して取り替える。





古くなると、ひび割れや 差込み口がゆるくなって ガス漏れの原因となります。

■ 特に注意していただきたいこと(安全のために必ずお守りください。)

▲ 警告

■ 使用上の注意

点火操作をしても点火しない場合は操作ツマミを「OFF」まで戻して、周囲のガスがなくなってから再度点火操作をする。



すぐに点火操作をすると周囲のガスに着火 して、衣服に燃え移ったり、やけどをする 恐れがあります。

■ 使用上の注意

お手入れする部品以外は、絶対に分解した り修理や改造は行わないでください。



一酸化炭素中毒などによる死亡事故のおそ れがあります。

また、ガス漏れや火災の原因になします。

■ 使用上の注意

使用中に持ち運ばないでください。



火災注意

火がついたまま製品を動かさないでください。 転倒すると火災・やけどの原因になります。

■ 使用上の注意

不安定な場所や可燃物の上に設置しないでください。 ____

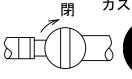


火災の原因になります。

■ 異常時の処置

使用中に異常な燃焼・臭気・異常音が感じられたときや、地震・ 火災など緊急の場合は、あわてずにガスの器具栓及びガスの元栓 を閉じて使用を中止する。

故障・異常の見分け方と処置方法(16ページ)に従って下さい。



ガス栓を閉じる



■ 使用上の注意

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わないでください。 やけどやけがをするおそれがあります。



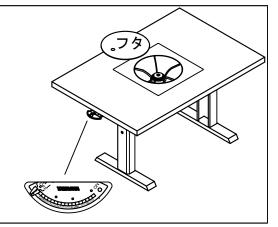
▲ 注意

■ 使用上の注意

器具にフタをしたまま点火操作は行わないでください。 フタが過熱して火傷や、火災のおそれがあります。

クッキングテーブルでフタをご使用されている場合、 フタをした時は必ず元栓を閉じ、操作ツマミに容易 に触れないようご注意ください。

ご使用の際は必ず、フタを取外し操作ツマミが「OFF」の位置であることを確認の上、元栓を開いてください。 使用後フタをする場合は、器具が冷めていることを確認 してからフタをして下さい。



■ 使用上の注意

点火操作時や使用中はバーナ付近に顔を近づけ過ぎない。 使用中や使用直後は、高温部(トッププレート、ゴトク、汁受けバーナ等)には触れない。調理面から高温の排気熱が出ていますので顔や手を近づけない。



炎や熱及び機器本体とその周辺及び調理器具が熱くなります。やけどに 注意して下さい。

特に小さい子供がいる場合ではやけどに注意して下さい。

■ 特に注意していただきたいこと(安全のために必ずお守りください。)

▲ 注意

■ 使用上の注意

調理専用器具ですので調理以外の用途には使用しない。衣類の乾燥などに使用しない。





過熱・異常燃焼による焼損や火災などの原 因になります。

■ 使用上の注意

機器を覆ってしまうような鉄板・陶板などは絶対に使用しない。



不完全燃焼や過熱による機器の焼損や火災 などの危険があります。必ず専用部品を使 用して下さい。

■ 使用上の注意

揚げ物調理には使用しない。

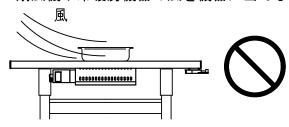


火災注意

調理油が過熱して火災になることがあり ます。

■ 使用上の注意

扇風機や冷暖房機器の風を機器に当てない。



機器損傷や作動不良の原因になります。

■ 使用上の注意

車両・船舶での使用はしないでください。



使用中に機器が傾いたり、火災や火傷の原 因になります。

■ 使用上の注意

点検・お手入れの際は必ず手袋をして行う。



手袋をしないでお手入れすると機器の突起物などでけがをする恐れがあります。

■ 使用上の注意

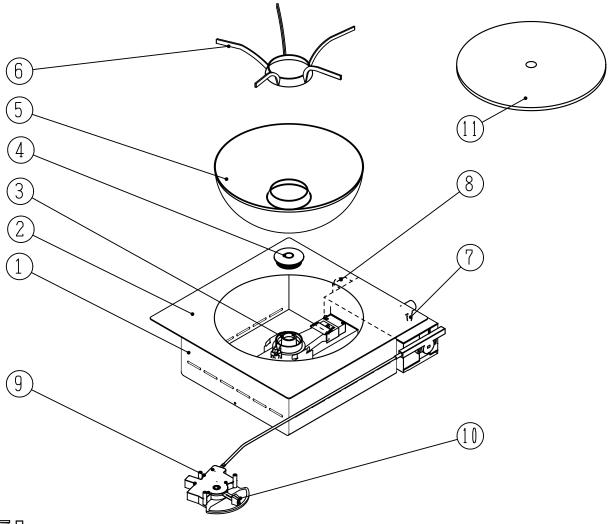
- ・補助具はこの調理器用の付属品以外は使用しないで下さい。
- ・なべをお使いになるときは28cm以下のものをご使用下さい。
- ・この製品は業務用です。家庭用には使用しないで下さい。

お願い

- ・使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中もときどき正常に燃焼していることを炎の状態 を目でみて確認してください。
- ・使用後は消火と、操作ツマミが左(OFF)へ「カチッ」と音がするまで戻ったことを 確かめ、ガスの元栓を必ず閉じて下さい。

火が立消えた状態で放置されると多量のガスが漏れ、爆発の恐れがあります。

■ 各部の名称と仕様



■ 付属品

No.	部 品 名 称	は た ら き
1	本 体	バーナ・汁受け・ゴトクを受けている部品
2	トッププレート	天板の断面を保護する部品
3	バ ー ナ	ガスと空気を混合する部品
4	バーナキャップ	バーナの上に装着して、安定した炎を出す部品
(5)	汁 受 け	吹きこぼれた汁などを受ける部分
6	ゴトク	調理する際に鍋を受ける部分
7	ホースェンド	ガス取入口
8	単 一 乾 電 池	バーナに点火する際の電源
9	ガススマートコントローラ	バーナへの点火及び火力調節をする操作ユニット
10	操 作 ツ マ ミ	バーナの火力調節をする部品
11	ステンレス器具フタ	コンロを使用しないときにするフタ

■ 消耗品 バーナ、バーナキャップ、ゴトク、単一乾電池

■ 各部の名称と仕様

■ 仕様表

記	載事	 項	記	載内	容						
製	品	名	SUS花(さすが)								
形	式	名	CTK-2016								
			都市	LP							
1 時間	あたりのガス	消費量	1 2 A	12A 13A							
			3.50kW	3.50kW 3.72kW 3							
点	火 方	式	連続スパーク点火方式(単一乾電池)								
空	気調節	器	固定式								
寸		法	幅506.5mm×奥行き427mm×高さ149mm								
ガニ	ス 接 続 口 9.5mmゴム管用ホースエンド										
安	全 装	置	立消え安全装置(サーモカップル方式)								
質	質 約9.7kg										
使用可	可能な最大な	べ径	2 8 c m								

[※]予告なく仕様の一部を変更させていただくことがありますので、ご了承ください。

■ 設置について

■設置前の準備

・機器をダンボールから取り出して包装部品全て取り除き、付属品を確認してください。

■機器の取付方法



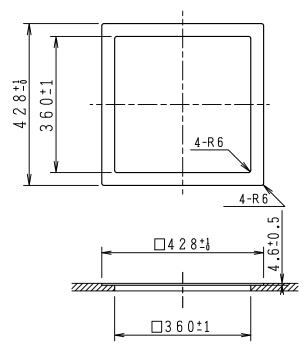
お客様の方で脚や桟を準備される場合は、ワイヤーや操作部が器具本体に触れないように設置してください。また、ケーブルに無理な力がかからないようにしてください。 機器を覆う様なキャビネット形状の箱足には、設置しないでください。 機器の破損や火災のおそれになります。

- ・機器からの熱で器具栓ツマミが動かない等の故障の原因となります。
- ・ワイヤーを機器本体に触れさせないでください。器具栓ツマミが動かない等の故障原因と なります。
- ・ワイヤーは出来るだけ大きく曲げてください。(内側の半径10cm以上)
- ・設置時は、操作部側、ガスコック側の根元から曲げるような負荷をかけないで下さい。 破損及び操作が重くなることがあります。

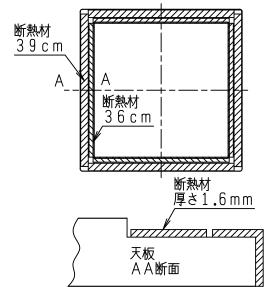
■ 設置について

■機器の取付方法

①天板(厚み20mm~40mm)に下記寸法 の穴をあけてください。

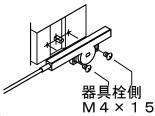


②付属の断熱材を39cm4本、36cm4本に切り 下図のようにタッカで取付けてください。 タッカの針の止めピッチは5cm程度を目 安にしてください。また、コーナー部はたるまないようにしっかりと固定してく ださい。



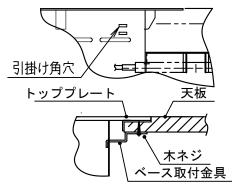
③機器を天板の穴に入れてください。 ※操作部を先に入れ、機器を斜めにしながら機器後方(ホースエンド部)を入れてください。 ※全体が天板と平行になるように機器を穴の中にゆっくりと落としこんでください。

操作部

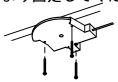


1、ガススマートコントローラ器具栓側を 取付けてください。 (3点式ビス2本 M4×15)

- 2、器具本体を天板表側より器具栓側から (ホースエンド部)はめ込んで下さい。 ※ 機器を天板に固定した後でも取付けれます。
- ④天板裏側より本体4ヶ所にベース取付金具 の引掛け角穴にベース取付金具をはめ込み の引掛け 角八にペース取り並具をはめ込み ベース取付金具を4×16トラス頭ネジ1 本で天板に固定し、締めこむ時に徐々に締 め込みトッププレートの高さが天板と同じ になるように調節してください。



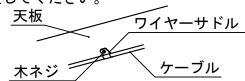
⑤操作部を付属の木ネジ(3.8×45)3本で 天板裏面より固定してください。



⑥付属のワイヤサドルと木ねじでケーブルを 天板に2~3ヶ所固定してください。

※ケーブルは出来るだけ大きく曲げてくだ

さい。(内側の半径10cm以上) ※ケーブルは機器本体に触れないように固 定してください。

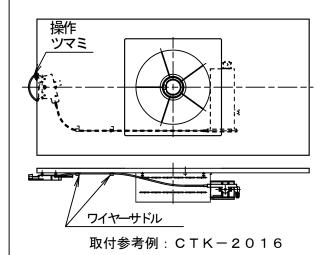


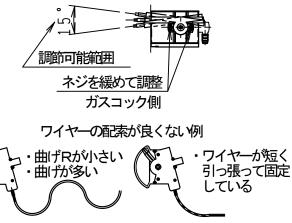
■ 設置について

■機器の取付方法

⑦バーナを取付け乾電池を入れて操作確認

- ※操作ツマミを「OFF」から「ON」の方向へ「カチッ」となるとこまで回してください「チッチッチッ」という点火音とともに点火を開始します。この時ON位置で点火音「チッチッチッ」がすぐに切れたり、着火しない、炎が保持しない場合は、器具栓側に取付けているガスコック側の固定ネジをゆるめて、回転方向に調整幅がございますので調整し締め直して下さい。
- ※操作ツマミをON位置で手を離して点火音「チッチッチッ」がきれない場合は、ワイヤーの引き回しに負荷がかかっているか、器具栓の軸に負荷がかかっています。ワイヤーの引き回しを見直し、器具栓側に取付けているガスコック側の固定ネジをゆるめて調整し締め直して下さい。





位置を変えて ゆとりを作る

■ 設置について

■ガス接続

●ガス枠

・機器を使用する場所に、専用のガス栓を設けてください

●ガス接続

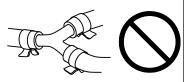
- ガス接続口径はφ9.5mmのホースエ ンドになっています。
- ゴム管は折れたりねじれたりしない よう、できるだけ短く(2m以下で 適当にゆとりをもたせる) また機器 に触れたりしないようにしてお使い ください。
- ・ヒューズコックをご使用の場合は、 ガス種、ガス量に適したヒューズ コックをお選びください。

ゴム管は、ガス用ゴム管 一クの入っているもの) を使用して下さい。 ゴム管は、ゴム管口の赤 線まで差し込みゴム管止 で確実に止めてください。

(検査合格又はJISマ



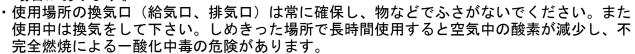
ゴム管の継ぎたし、及び 二又分岐はしない。

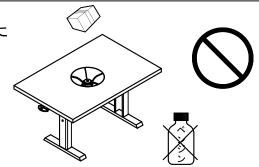


ガス漏れや誤使用などで 危険な場合があります。

■設置場所·注意

- 安定性がよく水平なところに設置して下さい。
- ・棚の下など落下物のある所を避けて下さい。機器の上に 落ちた物が燃えて火災になることがあります。
- ・樹脂製の照明器具の下でのご使用はお避け下さい。 照明器具のかさ等が変形することがあります。
- カーテンやスプレー缶など燃えやすいものの近くで しようしないでください。近くの物が燃えて火災に なることがあります。
- ・風の吹き込む所を避ける。風で吹き消されたりする 場合があります。





■ ご使用方法

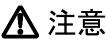
■ ご使用前の準備、使用上の注意

- ・バーナキャップを正しく取付けてください。 傾いていると、点火しなかったり、炎のふぞろいや、逆火を起したりします。バーナキャップを セットしたときは必ず正常燃焼しているか確認。
 - バーナキャップは消耗品です。薄くなったり変形いている場合は交換が必要です。
- ・汁受け、ゴトクを正しくセットしてください。 ゴトクをはずして直接なべを置いて使用しないでください不完全燃焼による一酸化中毒や異常過熱 による火災や機器の損傷の原因となります。
- 鉄板やコンロをおおうような大きななべは使用しないでください。 一酸化中毒のおそれや、機器の異常過熱のおそれがあります。
- 焼きアミは使用しないでください。 汁受け、バーナに落ちた油などが発火したり、機器の異常過熱のおそれがあります。
- ・なべ底から炎がはみ出さないように火力調節してください。鍋によっては、取っ手を焼損する恐れ があります。
- ・煮こぼれに注意し、こまめにお手入れする。 バーナ及び機器内部が汚れて放置すると煮こぼれが焼付いて不完全燃焼による一酸化中毒や機器を 早くいためます。
- ・立消えしたままの放置や、消し忘れに注意してください。
- ・揚げ物、天ぷら調理には使用しないでください。

■ ご使用方法

■ ご使用前の準備

- フタをしている場合はフタを取り外して、装着部品がもれなく確実に装着されていることの確認
- 機器および機器周辺に可燃物などがないかの確認
- ツマミが「OFF」の位置であることの確認
- ガスの元栓を開く



器具にフタをしたまま、点火操作は行わないでください。 フタが過熱して火傷や、火災のおそれがあります。

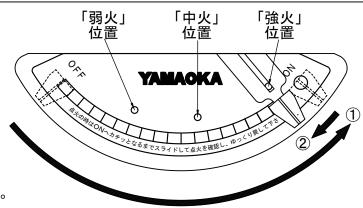
⚠注意

ガスの点火・消火は必ず、炎を目で見て確認して下さい。

【点火の方法】

① 点火は、ツマミを「OFF」から 「ON」の方向へ「カチッ」となると こまで回してください。ゆっくりいっぱいまで回すと「チッチッチッ」という音とともに点火を開始します。

バーナに着火したことを、炎を目で見て確認してから、5~10秒後に手を離して、もう一度バーナに着火していることを、再確認してください。



② 手を離すと「強火」の位置で止まり、強火燃焼します。

【ご注意】

- ●はじめて点火するときは、ガス管内に空気が入って点火しにくいことがあります。この場合、2・3回点火操作を繰り返し行い、空気を抜き、OFFの位置に戻した後、しばらくしてから、再度点火操作を行って下さい。 (長時間使用していなかったり、朝一番などはじめて点火するときも点火しにくい事があります。)
- ●点火の際や使用中に《ゴーゴー》音を立てて燃える現象が起きたときは一旦ツマミを 「OFF」にして、しばらくしてから再点火してください。

【火力調節の方法】

火力調節は3段階に調節できます。

- 一旦着火しますと、
- ③「強火」の位置から「中火」の位置に
- ④「中火」の位置から「小火」の位置に
- ⑤「小火」の位置から「中火」の位置に
- ⑥「中火」の位置から「強火」の位置に 自由に調節して下さい。

【ご注意】

- ●ツマミはゆっくり動かしてください。速く動かすと火が消える場合があります。
- ●○印の位置の節度以外でのご使用は、行わないでください。特に「小火」の節度以下にすると消火しますのでご注意ください。
- ●「強火」から「中火」「小火」と、「小火」から「中火」、「中火」から「小火」にした時などの火力はワイヤー及びコックの遊び代があるため変わることがあります。 一旦「強火」に戻してから「中火」「小火」の火力変化は少ないです。



⑦ 消火は、器具栓ツマミを「OFF」の 位置に動かし「カチッ」と音がする まで戻し、消火したことを、バーナを 目で見て確認してください。



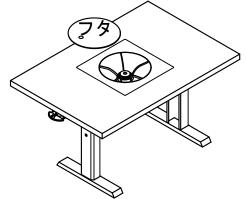


■ ご使用方法



器具にフタをしたまま、点火操作は行わないでください。 フタが過熱して火傷や、火災のおそれがあります。

- クッキングテーブルでフタをご使用されている場合、フタをした時は、必ず元栓を閉じ 器具栓を容易に触れないようご注意ください。
- ご使用の際は必ず、フタを取り外したことを確認の上、元栓を開いてください。
- フタを使用している場合、フタの上に重い物を置いたり乗らないでください。フタの 変形や器具が破損する場合があります
- フタをしたまま、長期間ご使用にならない場合、時々フタを開けて、試験点火するなど 器具の状態を確認して下さい。 使用後、フタをする場合は、器具が冷めていることを確認してからフタをしてください。





注意

機器ご使用時の点火・消火は、必ず炎を目で見て確認して ください。また、正常燃焼していることを確認して下さい。

- 器具ご使用時の点火・ご使用後の消火のほか、使用中もときどき正常に燃焼している ことを、炎の状態を目で見て確認してください。 バーナに点火する時は、バーナに顔や手を近づけないでください。火傷をするなどの
- おそれがあります。
- 点火時は、おしぼりの袋や割り箸などをバーナの近くに置かないでください。 着火して火災のおそれがあります。

■ 安全装置について

この機器には立消え安全装置が付いています。炎検出部(サーモカップル)がひどく汚れ ている場合、着火しにくい、使用中に火が消える等の症状がでることがあります。その場 合はP16お手入れの項を参照して清掃してください。



高温注意

清掃は必ず機器が冷えた状態で行ってください。

バーナをセットする場合、点火プラグ、炎検出部(サーモカップル)に当てないように気 を付けてください。点火プラグ、炎検出部(サーモカップル)の取り付け位置が変化して 着火しにくい、着火しないという症状がでる場合があります。

■ 停電時のご使用方法

ご使用中に万一停電した場合、換気扇などが動かなくなり、換気ができなくなる為、窓を 開けるなどして換気に注意してください。 窓が無く換気できない場合は、器具栓ツマミを「OFF」の位置にし、ガスの元栓を閉じ ておいてください。

■ 使用する鍋について

直径28cmを超える鍋は使用しないでください。 鍋からの輻射熱などで機器及びテーブルが加熱され火傷や故障の原因になります。

■ 日常の点検・お手入れ

日常の点検およびお手入れを行われる場合、次の事項を必ずお守り頂いた上、「日常の点検・お手 入れ」の項に記載されたとおりに行って下さい。

機器の性能を維持し、衛生かつガス漏れによる事故や機器の故障、劣化などによる異 常発生を未然に防止するため、日常点検および定期清掃は必ず行って下さい。

■点検・お手入れの際のご注意

益と土 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。 火災・ガス漏れの恐れや異常動作してケガをすることがあります。

- ・日常の点検・お手入れは、必ず行ってください。
- 特に煮こぼれした時は、必ずバーナの清掃を行ってください。
- ・故障または破損したと思われるものは、使用しないでください。
- ・不完全な修理は危険です。万一具合が悪くなって処置に困るような場合は、お買い上げにな った販売店にご相談ください。
- ・点検・お手入れの際には必ずガスの元栓を閉じ、機器が冷えてから行ってください。
- ・お手入れの際には指先に十分注意してください。
- ・機器内部をお手入れする場合は手袋を着用し行ってください。各部品の突起等に力強く当た った場合、手を切ることがありますので注意してください。

■点 検

- 点検前に必ずガスの元栓が閉じられていて、機器が冷えている かを確認して下さい。やけどのおそれがあります。
- ガス管(ゴム管、ゴム管止め、可とう管など)の劣化や接続は 必ず点検して下さい。ガス漏れの原因になります。
- 機器の周辺に可燃物や危険物がないことを確認して下さい。
- ・ゴム管接続の場合、ゴム管が、器具及びガス栓の両方共、赤い線まで十分に差し込まれていて ゴム管止めが取り付けられているかを点検して下さい。
- ・ゴム管が古くなってひび割れしたり差し込み口がゆるんで、ガス漏れしていないかときどき 石けん水などをかけて点検して下さい。
- ・機器の周辺に、紙・プラスチック・スプレー缶・油類などの可燃物を置いていないか点検して 下さい。
- ・立消え安全装置付きのものは、立消え安全装置に汚れが付着していないか点検して下さい。
- ・各部品とも正しくセットされていることを確かめて下さい。
- ・バーナおよびその周辺に破損や不具合など異常がないか確かめて下さい。
- ・機器周辺に可燃物・障害物などがないか確認して下さい。

■お手入れの道具と洗剤

使ってよいもの

本体表面など :●中性洗剤 ●やわらかい布 ●スポンジたわし ●ナイロンたわし

▶シュロブラシ等やわらかいブラシ

こびりついた汚れ用 : ●スクレーパー

バーナキャップ清掃用:●真ちゅうブラシ ●針金

使ってはいけないもの

- ●酸性・アルカリ性洗剤 ガス機器に使用している部品を腐食させ、 故障やガス漏れの原因になります。
- ●スプレーボトル式洗剤 機器内部に洗剤が入りますと部品を腐食させ 故障の原因となります。直接かけずに布など に含ませてからお手入れしてください。
- ●クレンザー(みがき粉)、金属たわし 部品や塗装の表面にキズがつき、サビなどの 原因となります。
- ●ベンジン・シンナー・アルコール 部品や塗装の表面が変質し、変色・塗装 はがれ、サビなどの原因になります。

■ 日常の点検・お手入れ

■お手入れ

▲ 警告

- 酸性・アルカリ性の洗剤を、本体にかけないで下さい。 ガス通路部品が腐食し、ガス漏れをおこし、危険です。
- 本体を水につけたり、水をかけたり、丸洗いはしないで下さい。 着火不良や不完全燃焼の原因となります。
- ・市販の業務用洗剤には、ガス器具に使用している部品を腐食させる成分が含まれている場合があります。洗剤の注意書などで成分を確認して下さい。
- ・本体に、強力な洗剤の原液などを直接吹きつけたり、本体を丸洗いされますと、器具栓やガス導管などのガス通路の機能部品が腐食・破損しガス漏れなどにいたるおそれがあります。
- ・機能部品を清掃・お手入れされる場合は、布切れに中性洗剤を含ませて拭き取り、仕上げに 濡れフキンで拭き取って下さい。
- ・汚れのひどい、ゴトク、汁受け、など本体より取り外しが出来る部品は、本体より取り外しシンクなどで洗浄して、乾いた布などで拭いて下さい。
- ・機能部品に強い洗剤の原液などがかかった場合は、固く絞った濡れフキンなどで拭き取って下さい。
- ・業務用洗剤ご使用時は洗剤の取扱説明書や使用上の注意をよくお読み頂き、従って下さい。
- ・本体を水につけたり、水をかけたり、丸洗いなどはしないでください。機能部品や、バーナ に水がかかった場合は、必ず乾いた布で水気を拭き取って下さい。
- ・本体は、吹きこぼれや炭化物が付着すると取れにくくなりますので、毎日1回、手袋を着用して中性洗剤を含ませた濡れフキンでふき取り、清掃して下さい。後は乾いた布で十分に水気をとって下さい。
- ・汁受け・ゴトクなどは濡れフキンでよく拭いて下さい。汚れのひどいときは、中性洗剤で手入れした後、乾いた布で十分に水気をとって下さい。

■お手入れ

- ・本体は、手袋を着用して濡れぶきんでよく拭いてください。汚れのひどいときは、中性洗剤を含ませてふき取り、お手入れした後、乾いた布で十分水分を拭き取ってください。
- ・汁受けは取りはずして水洗いし、乾いた布で水分を拭き取ってください。
- バーナキャプはスリット部(炎口)をブラシや針金などで掃除してください。
- バーナはブラシなどで内部を掃除してください。
- ・機器内部には水をかけないでください。故障の原因になります。

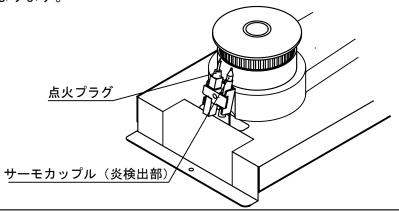
■ 日常の点検・お手入れ

■点火プラグ・サーモカップルのお手入れ

お手入れ

点火プラグや炎検出部(サーモカップル)がひどく汚れて着火しにくい場合は、先端をブラシなどで掃除し、布等で丁寧に拭き取ってください。

注意 点火プラグ、サーモカップルの取付位置を動かしたり、キズを付けないでください。点 火不良や故障の原因になります。



■ 故障・異常の見分け方と処置方法

現象原因	ガスの臭いがする	し	火・火移	炎が黄火で燃える	炎が飛ぶように燃える	な音を	異常に小さ	が異常に	安定しない	使用中に炎が消える	処 置 方 法
ガスゴム管接続が不完全 ガスの接続が不完全	0										ガスゴム管の接続を確実にする ガスの接続を確実にする
ガスの元栓の開きが不十分		0	0				0		0	0	ガスの元栓を全開にする
ガス元栓内の安全弁が作動してい る		0	0								ガスの元栓を閉じてからゆっくり 全開にする
配管中に空気が残っている		0	0		0				0		点火操作を繰り返す
銘板表示のガスと使用ガスの不一 致		0	0	0	0	0	0	0	0		ただちに使用をやめ、販売店に連 絡し使用ガスに合った機器と交換
バーナの取り付けが悪い		0	0	0	0	0		0	0		バーナを正しく取り付ける
立消え安全装置		0	0							0	P15に記載の安全装置の項参照
LPガスがなくなりかけている		0	0	0			0		0	0	新しいボンベと交換する
ツマミの開き不足		0	0				0			0	ツマミを一度「OFF」に戻して から再び点火操作を行う
バーナキャップの炎口が詰まって いる	0	0	0	0	0	0	0	0	0		バーナキャップの炎口を清掃する
点火操作が適切でない		0	0								正しい点火操作を行う
バーナが劣化している		0	0	0	0	0	0	0	0	0	販売店に連絡し、修理して下さい
電池が切れている		0									新しい電池と交換する

■ 長期間使用しない場合

■長期間使用されない場合は各部を清掃し、ガスの元栓を閉じて保管して下さい。

■ アフターサービスについて

- サービス(点検・修理など)を依頼される前に
 - ・サービスを依頼する前に16ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項でもう一度確認の上、それでも不具合な場合あるいはご不明な場合は、ご自分で修理をなさらないでお買い上げの販売店にご連絡下さい。
 - ・アフターサービスをお申し付けのときは、次のことをお知らせ下さい。
 - ① 製品名・製品番号(銘板に表示のもの)・ガスの種類
 - ② 住所・氏名・電話番号・道順
 - ③ 現象(できるだけ詳しく)
 - ④ 製品購入日·販売店·訪問希望日·時間帯

■ 移設される場合

・移設によってガスの種類が変わる場合があり、その場合、工事や調整には専門の技術が必要になりますので 必ずお買い上げの販売店またはもよりのガス事業者にご連絡下さい。 また、このときに要する費用は有料です。

■ 保証について

- ・「正常なご使用状態」において、しかも「製造上の責任」により発生した機器の故障にかぎり、お買い上げ 日より「1ケ年無償修理」といたします。ただし次の場合は保証期間中でも「有償修理」といたします。
 - ① 誤った使い方をされたときの故障
- ② 移動によって生じた損傷・故障
- ③ 改造された場合の故障
- ④ 天災による損傷・故障
- ※修理によって機能が維持できるときは、お客様のご希望により有料で修理いたします。

■ 消耗品

- ・消耗品は、保証期間中でも有償となります。 (7ページを参照)
- 補修用性能部品の最低保有期間について
- ・このガス客席コンロの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後5年です。

■ 連絡先

・ガス客席コンロをお使いになった上で、なにか不明な点や不具合な点がございましたら、お買い求めになった販売店か当社へ連絡して下さい。

YAMAOKA 山岡金属工業株式会社

ISO14001:2004(本社)/ISO9001:2008認証取得
本 社/〒570-8585 大阪府守口市東郷通り2丁目7番30号
TEL.(06)6996-2351 FAX.(06)6997-3045
東京支店/〒101-0052 東京都千代田区神田小川町1-6-4 新福神ビル9階
TEL.(03)3255-6755 FAX.(03)3255-6722

URL http://www.silkroom.co.jp / E-mail info @ silkroom.co.jp 夢工房「技術・文化館」「技術・開発館」を本社に併設しております。